

I.T. システム株式会社

HanNan通信



I.T.の力でお客様の
お困りごとを解決します。

I.T 商社が発信する企業向けニュースレター

I.T. System Co.,Ltd

[vol.002]

「働き方^ヒ関連^ト改革法案」は 他人ごとではない!



働き方関連改革法案」は他人ごとではない！

昨今、誰しものが耳にする「働き方改革」は、先進的な取り組みをしている企業や、大企業だけが関係することではありません。大規模な労働関係法令の改正が30年7月29日に成立し、この法改正には、違反に対し強制力のある罰則が適用される場合もあります。すべての事業者が他人ごとではなくなるため、正しい理解と早急な準備が必要となります。図1はすべての事業者が取り組むべき内容を記載しています。



(図1)

項目	内容	施工スケジュール	
		中小企業	大企業
残業時間の上限規制	時間外労働の上限を設定 原則的に月45時間・年360時間 臨時的な事情により労使の合意があった場合 年720時間・複数付平均80時間以内(年6ヶ月まで) 月100時間未満となる	2020年 4月	2019年 4月
有給休暇の取得義務化	10日以上有給休暇は付与される労働者に対し、5日については、付与日から1年以内に与えなければならない。	2019年4月	
勤務時間インターバル制度	就業と始業の間に一定の休息時間を確保する勤務時間インターバル制度の普及に努める	2019年4月	
割増賃金の猶予措置廃止	残業時間が月60時間を超えた場合にかかる割増賃金率について大企業も中小企業ともに50%とする(中小企業は現在25%)	2023年4月	—
産業医の機能強化	従業員の健康管理に必要な情報の提供を企業に義務付ける裁量労働制が適用される人・管理監督者は等は対象外だったが、すべての人の労働時間の状況を適正に把握する必要がある	2019年4月	
同一労働同一賃金	正社員と非正規労働者の待遇に不合理な差をつけることを禁ずる	2021年4月	2020年4月
高度プロフェSSIONAL制度の創設	高収入で専門知識を持った労働者について、本人の同意などを条件に労働時間規制から外す。 勤務時間に縛られず働ける代わりに、残業代や深夜・休日手当が支払われない。	2019年4月	

今すぐ取り組むべき内容

- ①時間外労働の抑制と、有休取得の促進のための、「業務効率(=生産性)の向上」。
- ②適正な労働時間把握のための、「仕組み(=ルール)の構築」。

上記2点は、ITツールを使用し、システム化にすることで解決するか？という点、それだけでは難しいと私たちは考えます。ITツールを導入する前に、立ち止まって思い返していただきたいのが、図2のECRSの順番と視点です。このECRSの視点なしに、効率化を図るIT化を進めると、IT化された物が複雑・煩雑で使いこなせないものになってしまう可能性が高くなります。さらに、システム等のカスタマイズが多くなり、費用が大きくなる傾向にあります。

次項以降にIT化のご紹介もいたしますが、ECRSの視点を持って検討・導入する必要があります。

業務そのもののダイエットをして、その上で、便利なツール(ITツール)を導入して、最大限の効果が発揮できるようにと考えて頂ければと思います。

(図2)

業務改善の順番と視点

E (Eliminate・排除)

- そもそも、その業務をなくせないのか？
- まず、業務の必要性を考える

C (Combine・結合)

- 似た業務を別々の人(部署)が別々にやっていないか？

R (Rearrange・代替)

- やり方を変えて効率化できないか？
- 作業の順番を変える、作業場所をかえる、担当者を変える等

S (Simplify・簡素化)

- はしょれないか？
- 過剰品質になっていないか？

私たちの仕事は、大きく2つに分類できると思います。

1つは、アイデアを絞り出したり、意見を調整したり、意思決定をしたりと、「人」にしかできない業務。

もう1つは、受注処理や請求書の発行、帳票類の作成といった入力を中心とした「定型業務」です。

この定型業務は、単調な作業にもかかわらず、非常に時間を要するのが難点です。

入力⇒確認して、修正⇒再確認⇒……それでもなぜかミスがあり、後でその処理に追われる厄介なものです。

このような定型業務に追われた経験はございませんでしょうか？

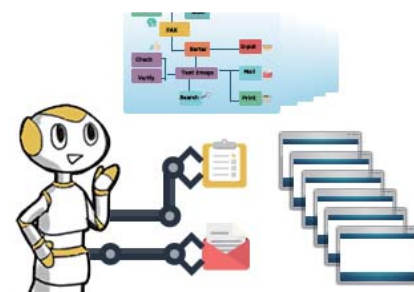
そこで登場するのがRPA (Robotic Process Automation) です。

この定型業務をRPAロボット(※)が素早くこなしてくれます。

※みなさんがイメージするロボットではなく、パソコン上で動作するソフトです

RPA導入効果

- ① 24時間休みなしで大量のプロセスを実行
- ② 担当者不在でも業務を滞りなく遂行
- ③ データ入力の自動化でヒューマンエラーを削減
- ④ 従業員はより付加価値を生み出す業務へ集中
- ⑤ 機密性が高い情報を含む処理のセキュリティー向上



定型業務でお困りの方、業務の洗い出し・見直し・点検からお手伝いさせていただきます。

〈自動化できる業務の一例〉



転記作業

ExcelやCSV等の電子データを元に、業務アプリケーションやExcelに転記する単純作業は、最もロボット化し易い作業の一つです。

- Excelの勤怠情報をシステムに転記
- 営業担当者が作成した受注伝票データをシステムに転記
- 各種申請情報を台帳に追加・変更・削除
- OCRで電子データ化した書類のデータをシステムに転記
- 前日の取引情報を転記しサマリ化



情報収集

Webサイトにアクセスし、必要な定型情報を収集する単純作業は、RPA支援ツールによって得手・不得手が分かれますが、情報化社会における現在では、非常に機会の多い作業の一つです。

- 株価、為替の値上がり率一覧の収集
- 競合金融機関の金利に関する変動を収集
- ECサイトにおける自社商品データの検索、一覧化
- 信用調査における企業情報の収集
- 販売店Webサイトにアクセスし、POS情報の収集



突合確認

複数のシステムにアクセスし、必要な情報を収集/集約したり、データの整合性を確認するような作業も効果を出しやすい例の一つです。

- 交通費申請とWebの路線検索交通費を突合せ
- システムの社員情報と人事情報を突合せ
- 新旧棚卸データの突合せを行い、変更点を確認
- 決算予想データと実際の収支情報を突合せ

WinActor フル機能版

908,000円／年(税抜)

WinActor 実行版

248,000円／年(税抜)

現在の業務の中で、本業の新製品開発や営業活動、マーケティング等、高度な業務が占める割合はどのくらいでしょうか？
本来業務にもっと経営資源(ヒト・モノ・カネ)を有効活用したい時、関連業務をアウトソーシングすることが、コスト削減と業務の効率化・品質向上をはかっていく一助となります。



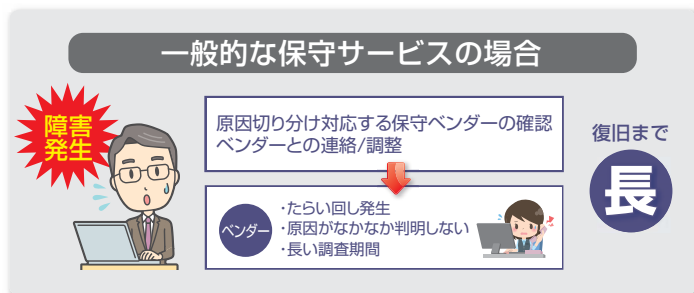
アウトソーシングのメリット

- ・自社の本来業務に集中
- ・ルーティーン業務の品質が向上
- ・外部の専門的ノウハウの活用ができる
- ・コスト削減 等々

ITシステムおすすめのアウトソーシング

① ネットワーク・ハードウェア保守アウトソーシング

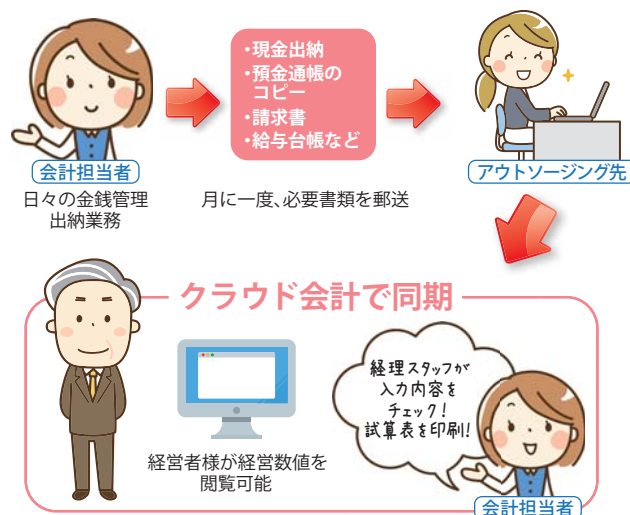
ネットワーク・ハードウェアの障害対応から復旧までを一元管理し、トラブル発生からの復旧時間を短縮する安心の保守サービスです。障害コールの受付窓口を一元化し、各部門と連携して障害切り分けを実施するので、お客さまによる障害切り分けが不要。お客さま専用のシステム担当者を選任することで、お客さまのITインフラや業態に合ったきめ細かな保守をさせていただきます。



② 会計記帳業務アウトソーシング

(社会福祉法人向け)

特殊な会計である社会福祉法人会計。専門知識を持ったスタッフの採用・教育に時間と労力がかかっているケースは多数あります。さらに、法改正も頻繁に行われ、最新情報を集め、知識を業務に活かし、適切な会計処理をすることも非常に困難な状況下にあるので、正しい仕訳と必要な様式の把握はネックとなります。アウトソーシングですが、「入力業務」という“作業”だけを委託するため、資金用途等の意思決定の機能はもちろん法人内にあります。また、単独の会計担当者に依存しないので、内部統制機能が適切に働き、不正会計の防止にもなります。



～労働時間、有休付与・取得の管理は適切にできていますか？～

03

労働時間の管理が義務化されたことで罰則が発生する可能性もあり、管理ミスが許されない状況となります。煩雑で複雑な管理による“心的負担”も増えるのではないのでしょうか？
「有休5日取得義務化」を皮切りに、次々と迫ってくる改正内容に対応するためには、「改正労働基準法」に対応した勤怠管理システムの導入が管理負担を軽減してくれます。



打刻管理の仕組み化

WEB打刻&タイムレコーダ ハイブリット対応

グループウェアからリンクしてサイトを開いたり、スマホやPC打刻などさまざまな方法に対応しております。

タイムレコーダ

モバイル

GPS連携で位置情報を取得

Web打刻

指静脈認証
PaSoRiリーダー

どこからでも勤務実績を確認でき、打刻、申請・承認が可能！

勤務実績の見える化 改正対応

勤務実績のWEB照会が可能

- ✓ 従業員や総務・上長による勤務実績の把握が可能

時間や場所を問わず、実績照会可能

過重労働者や勤務状況の変化を自動検知

システムが代わりに従業員をマネジメントして労務リスクを回避

申請・承認の仕組み化 改正対応

WEBワークフローで勤怠申請・承認が可能

- ✓ 外出先でも申請・承認が可能
- ✓ 有休消化の予定を把握可能

申請・承認の省力化を実現

いつでもどこでも、勤怠申請・承認が行えます！

勤怠集計の自動化

法やルールに沿って自動集計が可能

- ✓ 残業集計・時間外労働時間の清算にかかる手間を削減
- ✓ 休日休暇の自動付与から残管理まで管理可能

勤務状況はリアルタイムに把握可能

勤務時間や回数もリアルタイムに計算

部署別や社員別の各種分析資料を出力できます！

- ☑ 残業が多い部署の把握
- ☑ 残業が継続している社員を特定
- ☑ 有休の取得率が低い部署を特定
- ☑ 有休が取れていない社員を特定

締日翌日に勤怠確定を実現

126,000円／年(税抜)

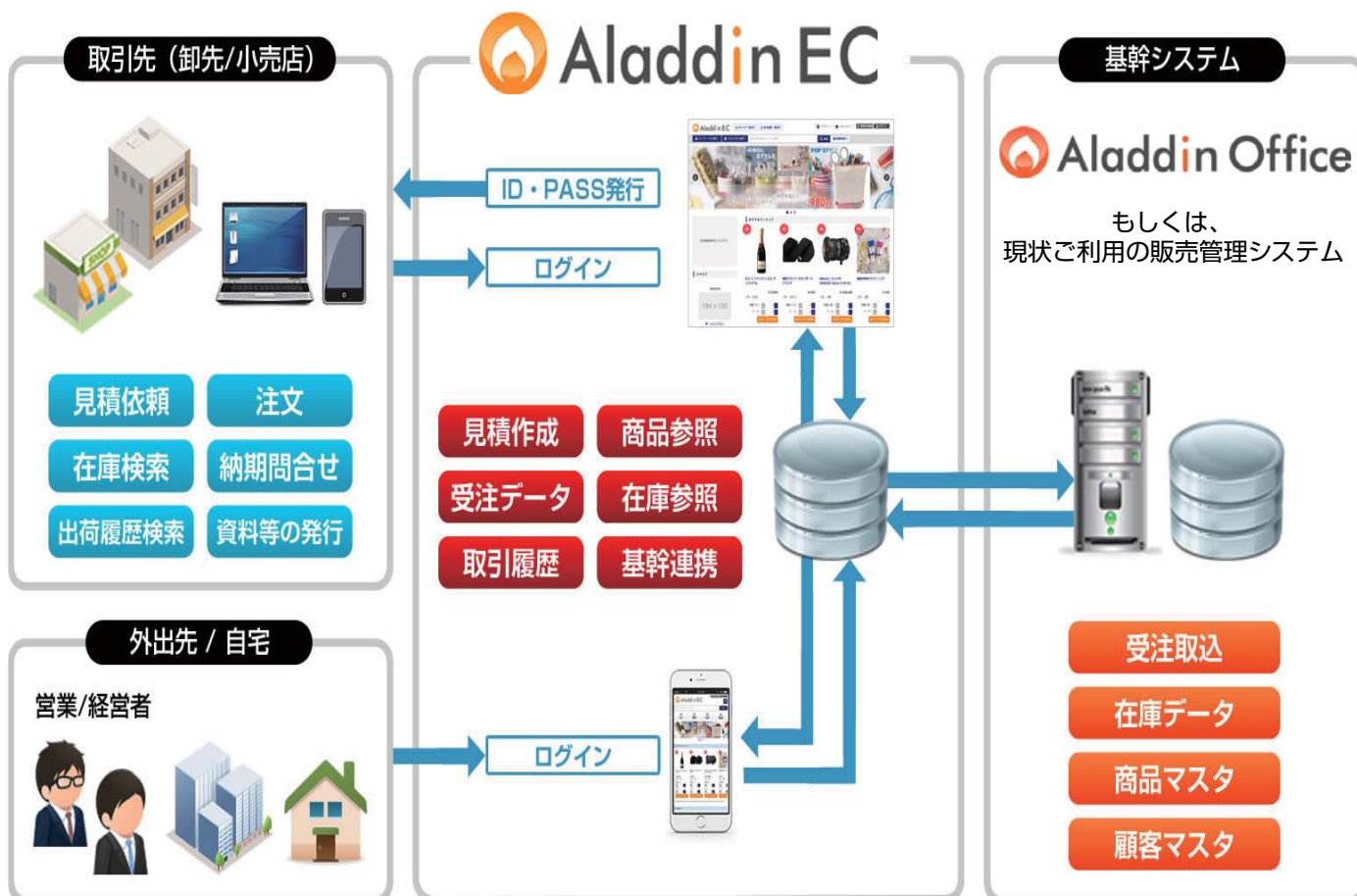
※従業員数30名までの場合の年間利用料です。詳細は別途お問い合わせ下さい。

受発注業務の多くは、“納期”があるため限られた時間内で処理しなければなりません。それにもかかわらず、時間と手間を要することが多くなりがちです。下記のようなシチュエーションに心当たりはありませんか？

- ・FAXが届いているか確認のため、何度も離席する
- ・FAXの文字が見えづらく、お客様へ連絡して内容の確認を行う
- ・FAX等で届く内容をシステムに手入力する際、入力ミスを起こす
- ・納期回答等、お客様からの連絡が入るたび、確認作業に時間がかかる
- ・営業社員に電話やメールで注文書が届いたことを知らせる必要がある



上記のような手間が解消され、なおかつミスが無くなります。さらには売り上げ向上に繋がる可能性があるという、夢のような仕組みをご紹介します。



料金については、都度お問い合わせください。

～会計ご担当の方～

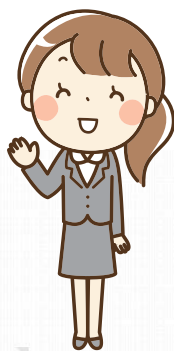
-通常の会計データ処理の流れ-

- ① 自社の会計ソフトに会計データの入力
- ② バックアップを取る
- ③ 会計士の先生にお渡しする
- ④ 会計事務所の先生が自社の会計ソフトでバックアップデータを読み込む
- ⑤ 経理チェックをされる
- ⑥ 会計事務所から連絡が入る
- ⑦ 経理チェックした結果を元に自社の会計データを修正する



かなりタイムラグがあるかと思いますが、もっとスムーズに自社の会計データを修正することができればいいと思われませんか？

クラウドタイプの会計システムの場合



会計ご担当者

相談

オンラインで
画面を共有

アドバイス



会計事務所

導入による3つのメリット

1

いつでも相談できる
大きな安心感

2

デジタル化による
大幅な時短

3

よりきめの細かい
丁寧な顧客管理





I.T. System Co.,Ltd.

I.Tの力でお客様のお困りごとを解決します。



“HanNan 通信”の定期購読(無料)もございます。

不定期になりますが最新号をメールにてお届け希望の方は下記のQRコードよりお申込み下さい。



I.T. システム株式会社

オフィスのあらゆる「困った」をご相談ください。

〒599-8271

大阪府堺市中区深井北町 3268

TEL: 072-276-5550 FAX:072-276-5556

URL: <http://it-system.co.jp>

担当営業

